

遠藤 博 様

こんにちは。ご無沙汰しています。

昨年より多い降雪に除雪に汗する毎日です。でもこれから降る雪は冬将軍の悪あがきで、気温も上がって春にまっしぐらといったところです。

田村明記念・まちづくり研究会から申し越しのあった、田村情報に関してコピーなどを送付します。

田村明さんとの出会いは、1980年代後半でした。

当時、江別市役所に勤務していました。1983年、役所の若手メンバー15人程でまちづくりを多角的に研究しようと勉強会をしていました。「都市ヨコハマをつくる」(中公新書)を教本に刺激を受けたものです。サークルの名前は「江別まちづくりフォーラム」として、町の歴史や自治業務を横断的に検証など取り組んでいました。

当時、当方は広報の仕事をしていました。友人のNHK記者にまちづくりに関して田村さんの話をしたら「よく知ってるよ」とのこと、びっくりです。今度、来たら紹介するよ、と引き合わせていただきました。まちづくりの神様みたいに思っていましたから、最初は揚がっちゃって何を話したか、忘れました。

でも田村さんは気さくに声掛けをしていただき、まちの取組みなど質問に答えたような気がします。田村さんは札幌市以外のまちに大変興味をもっていました。

添付のコピーは、「'86まちづくりフォーラム in 江別」報告書、田村さんの講演録です。当時はテープ起こしワープロ打ち、手作りで冊子にしました。その後、道内各地で、役所、役場職員らまちづくり研究会が「まちづくりフォーラム」を開催していきました。職員の市町村のまちづくり研究が活発に行われた時期です。

北海道自治体学会は、これらのフォーラムの積み重ねの延長にあります。

合わせて開発局の講演録も添付しました。開発局の講演では、開発局の担当課長から「田村さんから石垣君と一緒に千歳まで迎えに来てほしい」とのこと同行したことがあります。恐縮して講演にも参加しました。

期日関係など確認もありますので整理次第、情報提供していきます。遅れて申し訳ありません。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

*れんが関係の情報などは付録です。

2019年2月18日

石垣秀人